



くれよん もみじぐみ



まだまだ暑い日はありますが、季節は秋になりました。これから涼しい気温がありますが、体には気を付けて過ごしていきたいですね。涼しくなってくると、食欲も出てきますね。今回は、そんな食欲の秋にちなんで離乳食のお話をしていきたいと思います。普段、使っている食具や食器をご紹介します。

● 食具

普段、使っている食具をご紹介します。食事の時の介助スプーンは3種類あります。介助スプーンは子どもの口へ取り込む様子や口の開け方を見てその子の成長に合わせて選んでいます。介助する時は、スプーンを下唇の上に置いて舌を使って自分で取り込んで食べる練習をします。口が閉じるまで待ち、とじたら水平にスプーンを引き抜きます。

【スプーンの種類】

- ★平スプーン・・・初期食の頃から使います。スプーンですくった食べ物を唇ではさみ取ることが出来るようになります。
- ★中長スプーン・・・自分で取り込めるようになると、少しくぼみのあるスプーンで食べていきます。中期食から使用します。
- ★介助スプーン・・・後期食になると段々くぼみの深いスプーンを使用するようになってきます。

平スプーン →



中長スプーン →



深型スプーン →



★ 食器（手掴み食べの時期）

【小皿】

後期食に進むと手掴み食べが始まります。小皿に摘まみやすいように料理の食材をのせて提供しています。

小皿 →



手掴み食べは、目で見て食べ物を認識して、掴み取って硬さを知って、食べる時の口へ運ぶことで口に入る適量と運ぶ位置を知ることが何回か経験することで自分で食べることが上手になり、スプーンで食べれるようになっていきます。このように目、手、口の協調運動により摂食機能の発達に大切になってきます。

園では、食べ物に対しての子ども食べたい、どんな味かな？の意欲や興味を持つ気持ちを大事にして美味しいを共有しながら給食の時間を楽しく過ごしていきたいと思っています。

